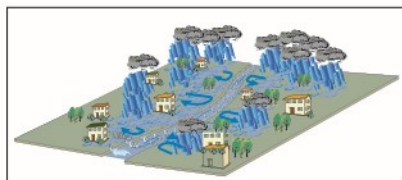


洪水ハザード情報について

阿武隈川・隈戸川の浸水域については以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

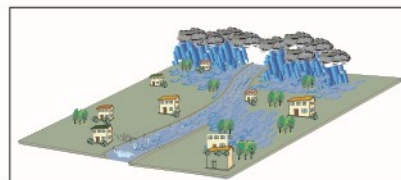
1 氾濫の種類

●雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

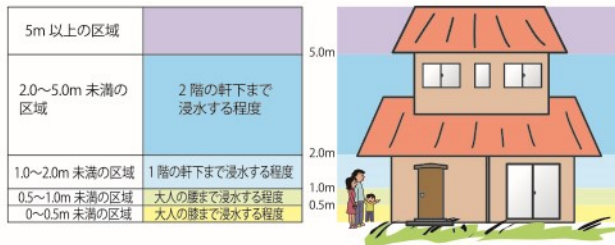


外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防が決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

2 説明(外水氾濫)

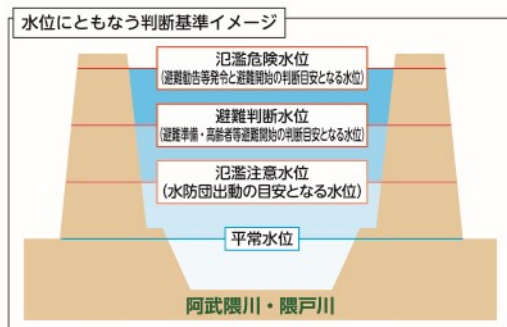
- この「矢吹町防災マップ」で使用しているハザード情報は、阿武隈川・隈戸川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。浸水の目安は「浸水ランクの目安」でご確認ください。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。



3 洪水情報の種類

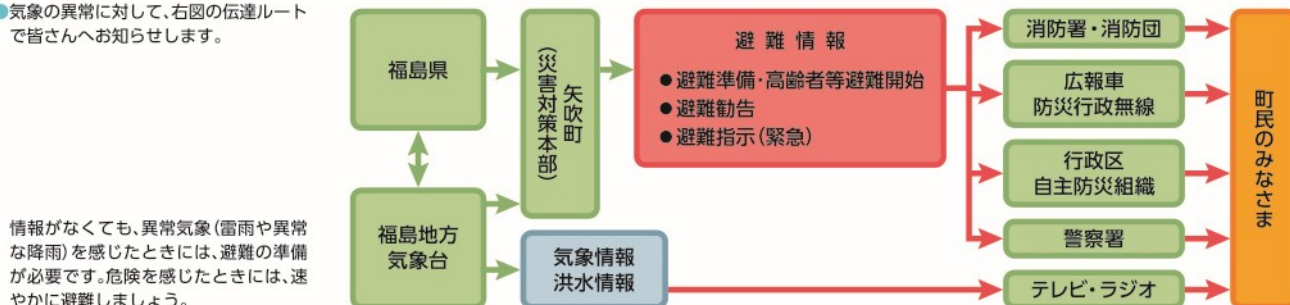
洪水の危険性が高まった際に発表される情報

- 洪水注意報(気象庁)** ●洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。
- 洪水警報(気象庁)** ●洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。
- 指定河川洪水予報など** ●阿武隈川・隈戸川については、福島地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する福島県が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。



4 洪水情報の伝達ルート

●気象の異常に対して、右図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。